

グラビア	地域を支える人 藤岡秀太さん・北海道網走市	1
発掘!地域の希望のタネ	〈大内塗〉山口県山口市	4
給食のじかん	給食調理員のアピール活動・熊本県水俣市 富山弘徳	6
特集解題	コロナ禍の雇用を考える	8

焦点	グリーン・リカバリーとしてのソーラーシェアリングの可能性 馬上丈司	10
書評	近藤幹生、幸田雅治、小林美希 編著 本田由紀、普光院亜紀、川田学、池本美香、後藤英一 著 『保育の質を考える—安心して子どもを預けられる保育所の実現に向けて』 菅原敏夫	16

特集

コロナ禍の雇用を考える

コロナ禍と日本の労働問題	岡田俊宏	18
「二〇二〇年度自治体会計年度任用職員賃金・労働条件制度調査」結果からみえる成果と課題	野角裕美子	26
コロナ禍におけるテレワーク拡大の意義と課題	細川 良	36
新型コロナに対応する介護現場の現状	中沼孝博	43
コロナ禍のシングルマザー	赤石千衣子	48
「死のうと思ったが死ねなかった」 —支援現場からの緊急報告	瀬戸大作	55

各県自治研活動レポート	静岡県は自治研発祥の地 静岡県本部 杉山 淳	60
オンライン自治研集会レポート紹介	若者世代の地域活動離れを考察する 岩手県本部 なぜ、若者世代は地域活動に参加しないのか? アンケートで本音を明らかに 自治労奥州市職労・自治研推進委員会	62
	災害時の女性視点での母子支援について 福岡県本部 大庭きみ子	70

自治研センターの機関誌案内	79
次号予告・編集部から	80

コロナ禍の雇用を考える

新型コロナウイルス感染症に関連する解雇や雇止めが、一〇万人に迫ろうとしています。その影響は非正規労働者、とりわけ女性に大きいのしかかっています。その現状をさまざまな角度から考えます。

コロナ禍と日本の労働問題

コロナ禍以前から広がっていた正規・非正規労働者の間の格差。是正を目指した立法措置も講じられつつありましたが、コロナ禍はその格差をさらに拡大するような方向で、大きな影響を与えています。さらに、二〇二〇年秋には格差の温存につながりかねない最高裁判決が出され、影響が危惧されます。記事ではコロナ禍と日本の労働問題を概観していきます。(本誌一八頁)

会計年度任用職員賃金・労働条件調査からみえる課題

地方自治法などが改正され、二〇二〇年四月からスタートした会計年度任用職員制度。自治体職場の臨時・非常勤等職員の適正な任用や勤務条件の確保をめざして創設されたが、その現状はどうなっているのか、自治労が二〇二〇年六月に実施した調査からみえる成果と課題についてレポートしています。(本誌二八頁)

コロナ禍におけるテレワーク拡大の意義と課題

コロナ禍によって、一気に広がりを見せたテレワーク。感染拡大の抑制やライフワーク・バランスの点からの利点もありますが、労働時間の管理やプライバシーの問題など、実際に広がったことから見えてきたさまざまな課題について考えていきます。(本誌三六頁)

コロナ禍のシングルマザー

コロナ禍で自死を選ぶ女性が増加しています。コロナ禍による雇用への影響は非正規労働者に偏り、とりわけ非正規で働くことが多い女性に大きな影響を与えています。特にシングルマザーのみなさんが置かれた状況について、支援・相談活動を行うNPOから、調査データに基づいた報告をお届けします。(本誌四三頁)

支援現場からの緊急報告

貧困問題などに関わる支援団体などはコロナ禍を受けて「コロナ災害緊急アクション」を設立し、年末年始に相談会などを開催しました。しかしその後もむしろ状況は悪化しているといえます。実際に支援活動に携わる方の現場からのレポートです。(本誌四八頁)

新型コロナに対応する介護現場の現状

コロナ禍での医療現場の現状については、ある程度報じられることもありますが、重症化しやすい高齢者と接して行かなければならない高齢者と介護の現場も、医療現場に劣らず厳しいものがあります。一年前の備品不足から始まり、感染者発生、そして介護事業者間の応援体制を構築するまでに至った現状について報告をいただきました。(本誌五五頁)

月刊自治研読者アンケート

特集した論文や報告、インタビュー、連載物について、ご意見、ご感想をお聞かせください。今後の紙面構成に参考にさせていただきます。

【毎月抽選で3人様にクオカード3000円!】

